



## 2020年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月14日

上場会社名 株式会社ファンドクリエーショングループ 上場取引所 東  
 コード番号 3266 URL <http://www.fc-group.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 克洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 阪本 浩司 (TEL) 03 (5212) 5212  
 四半期報告書提出予定日 2020年4月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年11月期第1四半期の連結業績 (2019年12月1日～2020年2月29日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第1四半期	379	258.7	△57	—	△68	—	△74	—
2019年11月期第1四半期	105	△12.8	△68	—	△71	—	△72	—

(注) 包括利益 2020年11月期第1四半期 △78百万円(—%) 2019年11月期第1四半期 △73百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第1四半期	△1.98	—
2019年11月期第1四半期	△1.93	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第1四半期	3,788	2,346	61.8
2019年11月期	4,017	2,449	60.8

(参考) 自己資本 2020年11月期第1四半期 2,340百万円 2019年11月期 2,443百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2020年11月期	—	—	—	—	—
2020年11月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年11月期の配当金につきましては、現在は未定です。

### 3. 2020年11月期の連結業績予想 (2019年12月1日～2020年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	3,110	95.8	220	83.3	200	108.7	160	93.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年11月期 1 Q	37,619,371株	2019年11月期	37,492,371株
2020年11月期 1 Q	27,500株	2019年11月期	27,500株
2020年11月期 1 Q	37,501,914株	2019年11月期 1 Q	37,464,871株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績に見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年12月1日～2020年2月29日)における我が国経済は、企業収益の向上や雇用・所得環境の改善を背景に堅調に推移いたしました。一方で、米中貿易摩擦や海外の政治情勢の不安定化が継続していることに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大による世界経済の停滞や金融資本市場の変動、日本国内の消費マインドの変化など、景気の先行きについては不透明な状況となっております。

当社グループの主要事業が属する不動産業界では、低金利環境下での良好な資金調達環境を背景とした国内外の投資家の物件取得意欲に支えられ、不動産市場の回復は鮮明となってきておりますが、その一方で、今後の新規物件の取得にあたっては、物件の取得価格と収益性のバランスを慎重に見極めることが必要となってきております。また、太陽光発電業界におきましては、長期間にわたって安定して高い利回りが期待できる点、残価リスクがほぼない点、現在の良好な資金調達環境などにより、今後は利回り商品としての需要拡大が見込まれております。

こうした状況の下、アセットマネジメント事業では、引き続きファンド運用資産残高、不動産等受託資産残高の増加に向けて、投資家ニーズに適合した魅力的な商品開発に努めております。当第1四半期連結累計期間においては、前期に設立した民泊等宿泊事業ファンドの追加募集を行いました。

また、インベストメントバンク事業では、割安な不動産物件への投資・バリューアップを行うべく国内外の物件のソーシングに努めました。海外不動産につきましては、米国カリフォルニア州で取得済み物件のバリューアップ施策を推進し販売いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高379百万円(前年同期比258.7%増)、営業損失57百万円(前年同期の営業損失は68百万円)、経常損失68百万円(前年同期の経常損失は71百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失74百万円(前年同期の親会社株主に帰属する四半期純損失は72百万円)となりました。

#### <アセットマネジメント事業>

当第1四半期連結会計期間末において、当社グループが運用するファンド運用資産残高は161億円(一部円換算US\$1.00=109.43円)、当社グループがアセットマネジメント業務を受託している不動産等の受託資産残高は183億円となりました。

不動産ファンドにつきましては、アセットマネジメントフィー及びファンド管理報酬等を計上いたしました。証券ファンドにつきましては、外国投資信託の管理報酬等を計上いたしました。また、太陽光発電ファンド事業につきましてもアセットマネジメントフィー等を計上いたしました。この結果、アセットマネジメント事業全体では、売上高51百万円(前年同期比24.9%減)、セグメント損失1百万円(前年同期のセグメント利益は0百万円)となりました。

#### <インベストメントバンク事業>

不動産投資等部門では、国外の販売用不動産の売却や保有不動産の賃料収入等により321百万円を計上いたしました。証券投資等部門では、株式売却益や金融商品仲介業務による報酬等により6百万円計上いたしました。この結果、インベストメントバンク事業全体では、売上高328百万円(前年同期比777.8%増)、セグメント利益14百万円(前年同期のセグメント損失は7百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末において、資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ228百万円減少し3,788百万円となりました。これは主に、短期貸付金が201百万円増加した一方で、販売用不動産が237百万円減少したことなどによるものです。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ125百万円減少し1,442百万円となりました。これは主に、借入金が57百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ102百万円減少し2,346百万円となりました。これは主に、利益剰余金が、四半期純損失の計上により74百万円、配当金の支払いにより37百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における連結業績は上記のとおりであり、2020年1月14日付で発表いたしました連結業績予想に変更はありません。なお、今後の業績等につきましては、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	898	729
売掛金	21	21
未収入金	55	58
有価証券	95	84
営業投資有価証券	507	489
販売用不動産	1,416	1,178
未成工事支出金	58	66
短期貸付金	34	235
立替金	188	154
その他	81	64
流動資産合計	3,357	3,083
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7	7
工具、器具及び備品(純額)	15	15
土地	402	402
有形固定資産合計	425	424
無形固定資産	0	0
投資その他の資産		
投資有価証券	108	95
その他	125	184
投資その他の資産合計	234	280
固定資産合計	660	705
資産合計	4,017	3,788
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	1,077	1,021
1年内返済予定の長期借入金	6	6
未払金	107	63
未払法人税等	27	5
賞与引当金	—	17
預り金	3	5
前受収益	14	14
投資損失引当金	16	16
その他	50	33
流動負債合計	1,304	1,184
固定負債		
長期借入金	184	183
その他	78	74
固定負債合計	263	257
負債合計	1,567	1,442

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,171	1,177
資本剰余金	664	671
利益剰余金	479	367
自己株式	△1	△1
株主資本合計	2,313	2,214
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	129	125
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益累計額合計	129	125
新株予約権	6	5
非支配株主持分	0	0
純資産合計	2,449	2,346
負債純資産合計	4,017	3,788

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年2月29日)
売上高	105	379
売上原価	26	292
売上総利益	79	87
販売費及び一般管理費	147	144
営業損失(△)	△68	△57
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	1
その他	0	0
営業外収益合計	0	1
営業外費用		
支払利息	2	6
資金調達費用	0	3
その他	0	1
営業外費用合計	3	12
経常損失(△)	△71	△68
特別利益		
その他	0	—
特別利益合計	0	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△71	△68
法人税、住民税及び事業税	0	0
法人税等調整額	0	5
法人税等合計	1	6
四半期純損失(△)	△72	△74
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△72	△74



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)
四半期純損失(△)	△72	△74
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△3
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益合計	△0	△3
四半期包括利益	△73	△78
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△73	△78
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	アセットマネ ジメント事業	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門	証券投資等部門	
売上高				
外部顧客への売上高	68	10	27	105
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	68	10	27	105
セグメント利益又は損失(△)	0	△13	6	△6

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	△6
セグメント間取引消去	8
全社費用(注)	△70
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△68

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	アセットマネ ジメント事業	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門	証券投資等部門	
売上高				
外部顧客への売上高	51	321	6	379
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	51	321	6	379
セグメント利益又は損失(△)	△1	26	△11	13

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	13
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△71
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△57

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。